

研究部ニュース 2019年度第1号

2019年7月19日（金）

発行者：研究部（松本、岩崎、渡部、岡、大原、小林、松田）

平素は本校の教育及び研究活動にご協力いただきありがとうございます。
今回の研究部ニュースは、本校の新しい研究主題と平野五校共同研究の今年度の取り組みを紹介させていただきます。

平野五校共同研究の研究主題

一人ひとりの多様な可能性を広げる評価のあり方 －主体性を育むための目標及び 評価指標の作成と活用をめざして－

本校は大阪教育大学附属学校園の1校であり、平野地区に所属しています。平野地区には、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校があります。この五校共同研究に取り組んでおり、これを「平野五校共同研究」と呼んでいます。

これまで、各学校園が重視している教育課題について相互理解を深め、校種を超えた教員間の「連携」「交流」を確かなものにするという趣旨の実践を行ってきました。このような取り組みにより、各校園の実情に合わせた実践研究に重点をおけるようにしながらも、過去の取り組みによって培われ実現してきた校種間での風通しの良さを保ち、教員間でお互いの教育観・研究・教育環境・子どもの実態をよく知ることができました。

昨年度からは「一人ひとりの多様な可能性を広げる評価のあり方 - 主体性を育むための目標及び評価指標の作成と活用をめざして - 」と設定し、3年計画で研究を進めています。今年度は2年次の取り組みを行っていま

す。各校園種接続を視野にいたした主体性を育むための評価指標（略称「コモン・ループリック」）を作成し、今後は「主体性コモン・ループリック」の活用指針（個別ループリックへの展開およびカリキュラムデザインとマネジメント計画）の提案を行っていく予定です。それらの取り組みは、11月9日（土）に平野五校共同研究発表会で発表いたします。

そのために今年度は、3回の共同研究集会を開き、五校園の教職員が共同して研究を進めていきます。

第1回共同研究集会 2019.5.14（火） 附属中高にて

- ・各校園に赴任された新転任教員の紹介
- ・グループワーク

主体性を育む評価指標の作成→グループ発表

第2回共同研究集会 2019.8.27（火） 附属中高にて

共同研究発表会 2019.11.9（土）

- ・今年度につきましては、児童生徒は登校となります。
詳細につきましては、後日お知らせいたします。

第3回共同研究集会 2020.2.18（火） 附属中高にて



【昨年度の五校共同発表会の様子より】

今年度からの本校の研究主題

知的障害教育におけるカリキュラムマネジメントの運用と キャリア教育の推進

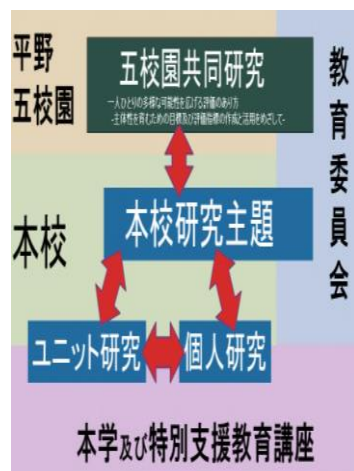
昨年度までの3年間、研究主題を「Art & Science～科学的根拠に基づいた魅力ある教育実践」として研究を進めてまいりました。2月の研究大会では日本全国から約200名の参会者をお迎えし、貴重な示唆をいただきました。

さて、心機一転。今年度より3年間（令和元年・2年・3年度）を研究期間として、上記研究主題で研究に取り組んでまいります。

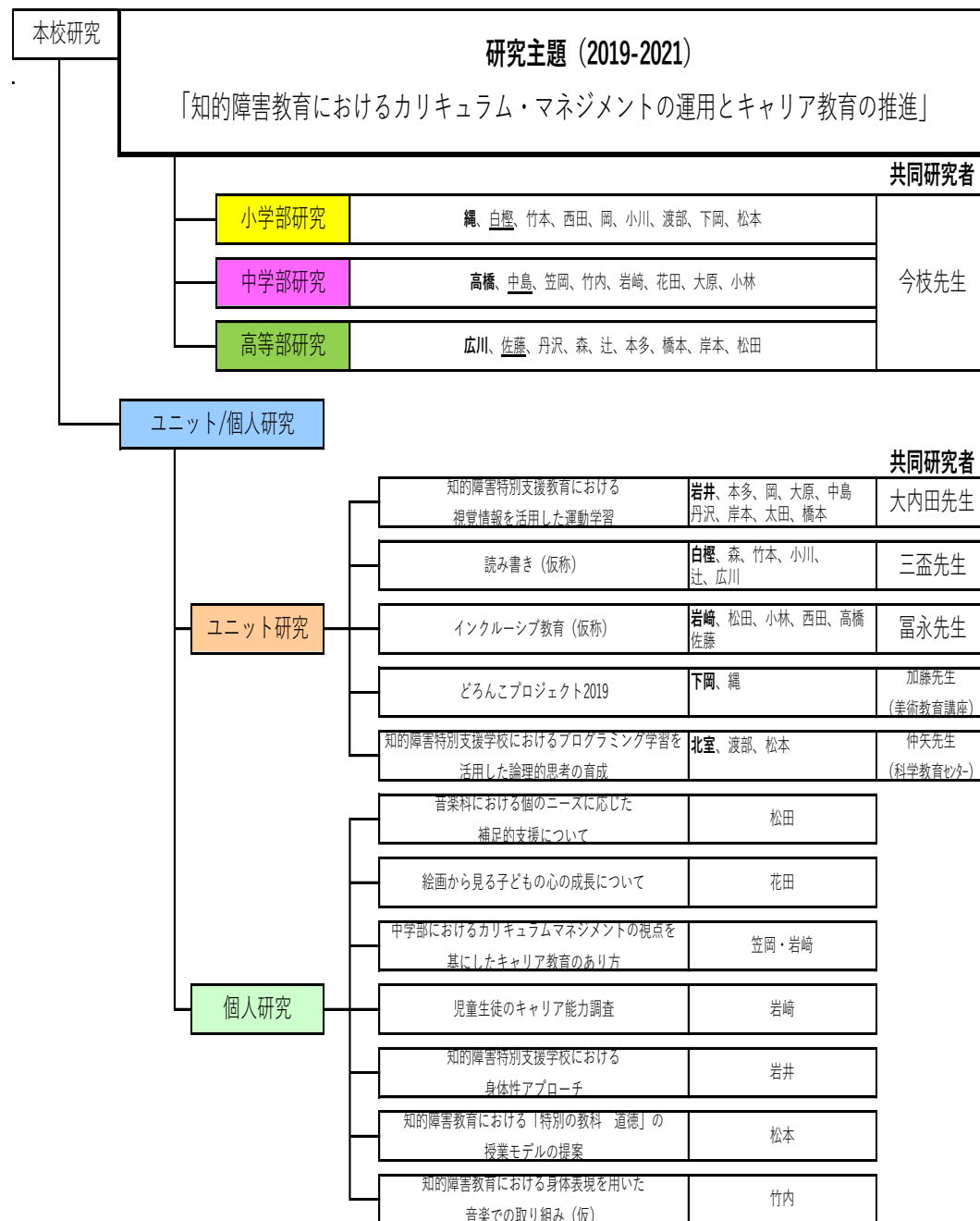
各学部における目指す子ども像を踏まえ、小学部・中学部・高等部と連携して教育課程を検討することを通して、12年間一貫した共通軸を探究しながら「キャリアマトリックス」を作成します。このキャリアマトリックスを実際に運用して教育活動を行っていく中で、教育課程の見直し・検討を図っていきます。定めたカリキュラムが適切かを常に検証し、改定、実施を繰り返し行っていくことでカリキュラムマネジメントをしていくことになります。この研究については、小学部・中学部・高等部の各学部単位での研究を行います。

また、特別支援教育の今日的課題に対応するためにユニット研究・個人研究にも取り組みます。ユニット研究・個人研究のテーマにつきましては、右側の研究体制図をご覧ください。

学部研究、ユニット研究、個人研究につきましては本学特別支援教育講座等や本学関係の先生方と共同研究を進めていきます。



令和元年度 本校における研究活動



※太字が研究リーダー、下線が研究サブリーダーを示しています。

共同研究者の先生方は所属の表記がない場合、本学特別支援教育講座の先生方です。